講義名	日本語資格試験講座Ⅰ【N2対策】					授業形態	
担当教員	山本　晃彦	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	JPN122

主題と概要

この授業は、日本語能力試験N2レベルの言語知識（文字・語彙・文法）、読解力、聴解力をつけることを目的とする。N2レベルの言語知識、読解力、聴解力は、社会で通用するコミュニケーション能力の土台となるものであり、大学の講義やゼミに対応することはもちろん、日本で就職し、活躍するために不可欠な力である。さらなるコミュニケーション能力の向上を目指すとともに、N2合格のための問題の解き方のテクニックについても併せて学習していく。

到達目標

①日本語能力試験N2レベルの漢字・語彙、文法、読解力を身につけ、活用することができる。
②学習していないことであっても、すでに知っている知識などを活用して考え、問題の正解を導くことができる。
③将来（本講義単位取得以降）の日本語学習について自分で目標や計画を立て、自律的に学習を続けていくことができる。

提出課題

毎回の授業後に課題を課す。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

試験や小課題について、授業中にフィードバックを行う。

評価の基準

宿題・課題（40%）、小クイズ・復習クイズ（30%）、レポート（30%）

履修にあたっての注意・助言他

本講義は日本語能力試験N2レベル合格を目標とした留学生対象の講義である。
毎回の授業で出欠確認を行う。やむを得ず出席できない場合には、できる限り事前連絡すること。
なお、遅刻を3回行うと、欠席1回とみなす。

教科書

.使用しない.				

参考図書

.日本語能力試験ベスト総合問題集.	五十嵐香子他	The japan times	1980	9783789017824
.日本語能力試験対策　これ一冊.	アスク編集部	アスク	1980	9784866396705
.J.TEST実用日本語検定問題集.	日本語検定協会	語文研究社	2530	9784931315273

その他

授業中に適宜プリント配布、あるいはインターネットを通じて資料を配布する。

授業計画

１．オリエンテーション、授業の進め方、評価の方法等、ミニ模擬クイズによる現在の実力判定
予習：自分のこれまでの各種試験の受験記録を確認し、弱点を分析したうえで、本講義での学習目標を設定し、講義に臨むこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。(120分)

２．言語知識・読解①
予習：本講義で扱う練習問題について、キャンパスクロス上の練習問題にて予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）
３．言語知識・読解②
予習：本講義で扱う練習問題について、キャンパスクロス上の練習問題にて予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

４．言語知識・読解③
予習：本講義で扱う練習問題について、キャンパスクロス上の練習問題にて予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

５．言語知識・読解④
予習：本講義で扱う練習問題について、キャンパスクロス上の練習問題にて予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

６．言語知識・読解⑤
予習：本講義で扱う練習問題について、キャンパスクロス上の練習問題にて予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

７．言語知識・読解⑥
予習：本講義で扱う練習問題について、キャンパスクロス上の練習問題にて予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

８．復習クイズ①・聴解
予習：復習クイズに備え、準備を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

９．言語知識・読解⑦
予習：本講義で扱う練習問題について、キャンパスクロス上の練習問題にて予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

10．言語知識・読解⑧
予習：本講義で扱う練習問題について、キャンパスクロス上の練習問題にて予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

11．言語知識・読解⑨
予習：本講義で扱う練習問題について、キャンパスクロス上の練習問題にて予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

12．言語知識・読解⑩
予習：本講義で扱う練習問題について、キャンパスクロス上の練習問題にて予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

13．J-TESTの紹介　筆記試験
予習：本講義で扱う練習問題について、予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

14．J-TESTの紹介　聴解試験
予習：本講義で扱う練習問題について、予習を行っておくこと。（120分）
復習：本講義の復習を行い、翌週の小クイズに備えること。本講義で取り上げた語彙および文法項目から単語帳を作成すること。（120分）

15．復習クイズ②・今学期の振り返りと今後の学習計画の立て方

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、実用的かつ基礎的な日本語能力を修得するとともに、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。国内の日本語教育機関でのJLPT受験対策、また海外ではJLPT受験対策講座で各地を訪問した経験を活かし、受験のテクニックを含めた日本語支援を行う。

備考